



秩父視察会に参加

一般社団法人秩父地域おもてなし観光公社が主催
今年には日程が土日にあたり、約 30 万人が集まった「秩父夜祭」の
二日間。その余韻がそのまま残る秩父の玄関、西武秩父駅で地元
観光公社の皆さんに我々は迎えられた。西武鉄道アロー号で池袋
からわずか 79 分。そこには、東京から日帰りで楽しめる観光エリアが
広がっていた。

最後の山車が車庫にもどったのが朝 3 時。祭りの余韻を残したままの
駅前ターミナル脇よりツアーは出発。最初に、地元の宿泊施設を訪問
した。昔ながらの農家屋敷 宮本家は、純和風の落ち着いた空間を
生かし、当主が元力士だったこともあり、国技館をモチーフに土俵
露天風呂や化粧まわしなどの相撲関連の品、また雛人形や骨董品の
展示などを通じて日本文化のインパクトを強烈に与える。隣接する
ふるさと村ではそば打ち、様々な農業体験、動物とのふれあい、竹細
作りなど昔ながらの生活体験ができ、宿泊するだけではない“滞在
時間を楽しむ”思い出作りを提案するレジャー施設となっていた。

昼食は、地元の幸を十分感じられる食材を使った郷土料理を Dada
で堪能。午後からは、最近できた駅前温泉施設「祭の湯」を見学後、
東京から U ターンしてきた若手たちが新種の店を出店、軒を並べる
古くからの商店街を散策。地元を愛し大切に、新旧の共存で街の
活性化を目指す姿がそこにあった。

その後、秩父夜祭のメを飾り、鎌倉時代末期以降、復活した流鏝馬
の会場に向かう。月曜日のため、近隣の保育園の子供たちや多くの
地元の人々が来場。勇壮で華麗な日本の伝統スポーツを鑑賞し、
そして秩父まつり館では、年間約 300 も行われてきた秩父の祭りの
一部を知り、さらに創建 2100 年の関東屈指の古社、秩父神社では、
1592 年に徳川家康が寄進した社殿に左甚五郎作の見応えある彫刻



の施を見つけ楽しんだ。コースの
最後には、平成の水百選に選定され
ている地下水を使う“武甲正宗”の
醸造元、武甲酒造 柳田総本店を
訪問。ご主人の名調子に耳を傾けな
がら、銘酒味比べを楽しんだ。

夜の交流会では、シェフ自ら地元で
農業に取り組み、収穫した食材を
使ったイタリア料理店を訪問。海外の公式晩餐会で日本代表の一人
として参加した注目のシェフによる美食を堪能しながら、観光公社や
長瀬観光協会、経産省の方々に我々が同席させて頂き、今回の機会
に感謝しながら、秩父観光の将来の話題に盛り上がった。

各地域の観光は、今はインバウンド客を含めた観光客の招致に熱心
である。ただそれは勢いに留まらず、ずっとその先につながる街づくり
と人的な受け入れ体制を、スピード感ある都会とは違う手法で、日本
の生活や文化、考え方がぶれることなく伝える取り組みを進めて
欲しい。またそんな地域の思いやメッセージの素晴らしさをしっかりと
我々ホテルコンシェルジュも理解し、お客様と地域で暮らし頑張る
皆さんをつなげていく役割を積極的に努めていきたい。さあ、もっと
学ぼう！体験しよう！ (東出江津子)

十和田八幡平国立公園視察会に参加 環境省国立公園満喫プロジェクトに協力

- 1 日目: 馬っこパークいわて乗馬体験/雫石町 重つこ料理体験/ロジックラ
マン スノーシュー/後生掛温泉
- 2 日目: 早朝スノーシュー体験/康楽館劇場と鉱山事務所/道の駅あんたらあ
にて「たんぼ」作り/十和田神社周辺散策/奥入瀬ナイトツアー/姫ます山荘
- 3 日目: 奥入瀬溪流トレッキング/酸ヶ湯温泉

今回のプロジェクトの一番の目的は国立公園と其処に住まう人々の
文化を観光資産として再評価しプロモーションする事にあります。
現在、地方では人々が住んで居ると地を離れ仕事を求めて都市部
に移動しています。しかし我が国において人の手を加えられていない
自然など皆無に等しいのです。もしその自然に介在する人が居なくな
ったら其れ等は長く存在し得ないでしょう。

西に生まれ育つと東北地方は文字通り想像の遙彼方にあり訪れた全
ての場所はとて新しく貴重でした。いずれの温泉も素晴らしかったの
ですが殆どの施設が未だ少し努力が必要に思われました。しかし、そ
れらの中でも特に皆さんと分かち合いたい事が二つありました！後生
掛温泉での早朝スノーシュー体験と奥入瀬溪流のトレッキングです。
早朝スノーシュー体験は午前 6 時半、日の出前に始まりました。

私達は 30 分程丘を上り下りして途中日の出を愛でながら「沸騰する
泥」を見に行きました！見に行った事あります？目と鼻の先で噴き出
す蒸気と煮え滾る泥を！最前列と最後尾と 2 人のガイドが我々を見守
り懇切丁寧に導いてくれました。雪の中を歩く事その事自体も楽しい
のですが更にはその地形でした。普段映像でしか観る事の出来ない
地面から吹き出す蒸気と煮え立つ泥に近づく事ができたのです！こ
れは冬のみ可能だとの事。通常、それらはロープで仕切られており、
旅行者が入り込めない様になって居るのですが去年の夏、一人の旅
行者がロープを越えた途端に地面が崩落し片脚を煮えたぎる泥の中
にはまってしまうが彼は 30 分かけて自力で旅館まで辿り着き
救急車を要請したのだそうでした。ガイドの方によるとその後の消息は
判らないそうです。そう、その地形を知り尽くしたガイドさんがいらっ
しゃるからこそ出来る事です！

奥入瀬溪流トレ
ッキングは期待以上、
予想以上！想像を
遥かに上回る内容
でした。ガイドのヤ
さんは奥入瀬溪流



を心から愛し彼の知りうる四季折々の全てをより多くの人達と分かち
合う情熱に満ちた人で通常他のガイドが仕事を求めて他所へ移動
する中、地元を踏み止まりこの神秘に満ちた奥入瀬溪流の冬景色を
堪能させてくれました。ヤさんの手に掛かれれば普段なら気にも留め
ない事が実はとても素晴らしい事だと気付かされます。どこか私達の
仕事に似ていますね。しかも流暢では無いにしろ英語でも説明出来る
のです！今、思い出してもワクワクしてしまいます！

この2つこそ冬の特別な観光資源として世界中の仲間と分かち合いた
いと心から思いました！ (吉村直行)

12月定例会開催

レストラン予約システム担当者を招聘

12 月 20 日にルイヴィトンホール(東京)にて開催され、33 名が出席
しました。報告事項に続いて、第二部では、レストラン予約システムを
提供するバスバ社より橋野様
をお迎えして、コンシェルジュ業
務の軽減につながりそうな同社
のシステムに関するお話を伺
いました。



1月定例会開催

同日午後セミナーを開催

1 月 17 日にマンダリンオリエンタル東京にて開催され、26 名が出席し
ました。報告事項の後は、当日午後開催された我々主催の
「フォーブストラベルガイドセミナー」の
準備に当たりました。同セミナーは 250 名
近い参加者を数え、100 名以上のゲストの
の方々をお迎えいたしました。

